

蓮華温泉から朝日岳・梅海新道を経て親不知

【山 域】 北アルプス 北部 蓮華温泉から親不知

【日 時】 2016 年 9 月 1 日（木）～5 日（月）

【参加者】 CL 橋本 丈夫、齋藤 健志

【コース】

9 月 2 日：蓮華温泉⇒白馬大池⇒白馬岳⇒白馬頂上小屋（テント泊）

9 月 3 日：泊地⇒三国境⇒雪倉岳⇒朝日小屋（テント泊）

9 月 4 日：泊地⇒吹上のコル⇒黒岩山⇒サワガニ山⇒犬が岳⇒梅海山荘（テント泊）

9 月 5 日：泊地⇒黄連の水場⇒白鳥山⇒坂田峠⇒二本松峠⇒梅海新道登山口に下山

親不知駅⇒糸魚川駅⇒平岩駅⇒蓮華温泉⇒千葉に帰宅

【まとめ】

4 日間のテント縦走を行うため軽量化を図った。10g 単位で見直し、水なしで 11kg 以下の抑えることができた。このコースをカシ米尔 3D で計測した結果、沿面距離 48.1km、累積標高(+)3606m、累積標高(-)4999m であった。朝日小屋から先は 2 か所の小屋、4 か所の水場がある。携帯電話はほとんど通信ができない（朝日小屋）そうだ。覚悟はしていたが、考えた以上に長く、下りの多いルートであった。4 日間、好天に恵まれたため、ほぼコースタイムに近い時間で踏破することができたが、天候次第では難しいルートとなるであろう。

1. 計画

50 周年記念山行の最後のルートを高齢者としては、マイペースで足手まといにならないように歩きたかった。また、本隊のためにルート偵察を行った。8 月末に 9 月 1 日から大雪溪の通行ができなくなり、ルートの見直しを行い、大雪溪から蓮華温泉へ入山口を変更した。

2. 装備・食糧

3 泊 4 日の長いルートであるため、できるだけ軽量化に努めた。4 日間の個人装備、共同装備そして食料（1 日分の予備食）の合計で 10.9kg（参考資料 1）と軽量化することができた。

3. 天気

台風が発生し、最後の日は影響がでそうであったが、梅海新道は標高が低く、日本海側に位置するので影響は小さいと予想でき、さらに今年の台風は予想が当たらないので決行した。

実際の天気は、4 日間好天に恵まれた。9 月 2 日：晴れで雲海が広がる、午後は曇、9 月 3 日：快晴、午後は曇、9 月 4 日：快晴、午後は曇で 3 時頃に 40 分間の雷雨、9 月 5 日：晴れで午後は曇

4. 山行報告

9 月 1 日（木）

千葉を 20 時に出発し、2 時前に蓮華温泉駐車場に到着した。大雪溪が通行止めのためか、ほぼ満車状態であった。

9 月 2 日（金）

蓮華温泉(1470m)5:40⇒白馬大池(2469m)8:40⇒三国境 11:55⇒白馬山頂(2932m)12:50⇒頂上宿舎(2729m)13:30 （テント泊 1000 円／人、ビール 700 円／500mL）（昭文社マップ 7 時間）

蓮華温泉横にある登山口から樹林帯の山道に入る。水を入れて 13kg のザックが重い。その上樹林帯で風が無く、すぐに汗が噴き出る。3 時間してやっと白馬大池にでる。長野側には雲海が広がるさわやかな風でほっとした。

これからは日差しの中を徐々に高度を上げていく、三国境まで昭文社の地図では 2.5 時間であるが、3 時間以上を要した。途中、晴天の中で 2 匹のひなを連れたライチョウに出会う。山頂を経由して今日の泊地である頂上宿舎のテント場へ到着した。まだ早いので数張のテントしかない。受付が 4 時半なので、テントを設営して、冷たいビールを楽しんだ。

9 月 3 日 (土)

起床 3:00 頂上宿舎(2729m)発 4:30⇒白馬山頂(2932m)5:05⇒三国境(2751m)5:55⇒雪倉避難小屋 7:45⇒雪倉山頂(2611m)8:40⇒燕岩の水場(2050m)10:20⇒朝日岳の分岐 11:20⇒朝日小屋(2140m)着 13:05 (テント泊 1000 円/人、ビール 800 円/500mL) (昭文社マップ 7 時間 10 分)

4 時に頂上宿舎を出発する。白馬山頂まで朝から登りである。山頂には朝日を見ようと多くの人がいるが、我々は先を急ぐ、山頂からの下りは少し気を使って下る場所もある。三国境で昨日来たルートに別れを告げ、雪倉岳を目指す。手前の鉢の鞍部で濡れたフライを乾かして鉢が岳の巻き道に入る。雪倉岳避難小屋はきれいに整備された小屋であるが、付近には水がない。ここから 1 時間で雪倉山頂に到着する。避難小屋の手前で大きなザックを担いだ青年に会う。親不知から静岡まで 18 日間の山行とのこと。雪倉からの長い下り(予想以上に長い下り)が終わると燕岩の水場にでる。そんなに冷たい水ではないが、ほっとする場である。これから稜線の左側の山腹を巻くように歩く。湿原と尾根を越えるのでちょっと辛いルートである。とにかく我慢して歩くと赤い朝日小屋の屋根が見えてきた。小屋には 13 時過ぎに到着した。すぐにテントを設営して冷たいビールを楽しむ、同行したご夫婦と話に弾んだため 2 本を飲んでしまった。明日は飲めないので良しとする。

9 月 4 日 (日)

起床 3:00 朝日小屋(2140m)4:10⇒朝日岳山頂(2418m)5:10⇒吹上のコル(2222m)5:50⇒黒岩の水場 8:45⇒サワガニ山(1612m)11:00⇒北又の水場 11:55⇒梅海山荘(1593m)着 13:10 (昭文社マップ 9 時間 10 分)

今朝も好天である。1 時間で朝日岳の山頂へ、頂上で日の出となる。下ると蓮華温泉と分かれる吹上のコルに着く。ここで虫にまわりつかれるので防虫薬(3M ウロトラソン:米軍用作られたもの。塗った途端に虫が来なくなる。水に流れやすいようで顔を洗ったりすると虫が寄ってくる。)を塗った。

いよいよ、梅海新道である。黒岩山までは湿原地帯で、これから行くルートが良く見える。幅の広い台地に湿原が広がり、その先に稜線が続いている。読図の勉強にはもって来いの場所である。朝日小屋から 5 時間で黒岩の水場である。溪流のように冷たい水が流れており、地図にはないが台地に川がある。

水場から 1 時間で黒岩山、この後は稜線伝いの道となる。遠くに犬が岳と右肩に赤い屋根の梅海小屋が小さく見える。尾根といっても樹木に囲まれた場所が多く視界は望めない。ただ日陰を作ってくれるので助かる。いくつもの上下を繰り返し、北又の水場に着いた。ここでは食事と明日の行動用水(約 4kg)を採った。ここから小屋まで 1.5 時間の上り下りのある樹林帯の道である。午後の 2 時頃に小屋に到着した。ザックを下し、小屋を見に行く。小屋の入口には左右にテーブルがあり、ここで食事を作ったり食べたりする。奥の部屋は左右に別れ、各々に 2 階がある。各部屋には銀マットと寝具が置かれており、1 枚の銀マットに二つの数字が書かれており、奇数番号から埋めて、最大 48 まで番号がある。

小屋の前に草地の広場があり、4 名の学生が到着してテントで昼寝をしている。我々もテントを設営し、草地の上でわずかなウィスキーで乾杯して、コーヒーを楽しんだ。遠くに雷鳴が聞こえることからテントに入って横になると気持ち良い昼寝タイムになり、その間に雷と豪雨が 40 分ほど続いた。すごい雨量であるが、水たまりが全くできないテント場でした。テント場の奥に水洗?のトイレがある。

9月5日(月)

起床 2:30 梅海山荘(1593m)発 4:00⇒黄蓮の水場(1166m)5:40⇒菊石山(1210m)6:10⇒白鳥小屋(1287m)9:00⇒シキ割の水場 10:00⇒坂田峠(609m)11:05⇒尻高山(677m)11:50 二本松 12:45⇒梅海新道登山口着 14:20 (昭文社マップ 9時間 10分)

いよいよ梅海新道の最後の日である。1600m から 0m までの長い下りであるが、上下があり、意外と急な下りが多く、正直疲れるルートである。

今日のルートもすべて樹林帯の中で、日陰あったので暑さを軽減できた。樹林帯の中では視界はないので自分の位置は所々にある標識でしか確認できない。このルートは回りの草が刈り取られ、整備の行き届いたルートである。

黄蓮の水まで約 2 時間、水の補給ができる素敵な場所で、テントも 2・3 張張れそうである。ただ水量は多くない。黄蓮の水場から約 3 時間で白鳥小屋である。白鳥山の山頂にあるこぎれいな小屋で、寝具はないが梅海山荘より泊まりたい小屋である。

ここより 2 時間で坂田峠に到着、標高は 609m で、舗装道路があり、タクシーが来るとのことである。ここより樹林帯の中を 3 時間歩くと、親不知の国道わきの登山口に到着した。

観光ホテルでスマホを充電させていただき、親不知駅まで 750 円で送ってもらう。糸魚川駅で乗り換え平岩駅からタクシー(6390 円)により蓮華温泉で車を回収した。その後、汗を流して、食事し、千葉へ帰宅した。

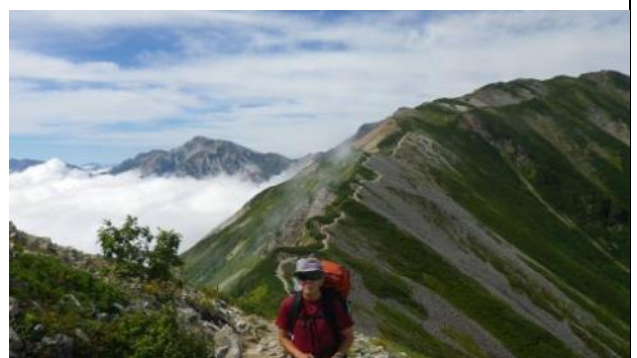
5. ヒヤリハット

スマホの電源 OFF を忘れ、充電池を持ってきたが充電ケーブルを忘れた。梅海新道はほとんど通信ができないそうである。

6. 写真



白馬大池にて：後ろに長野の雲海から流れ込む雲



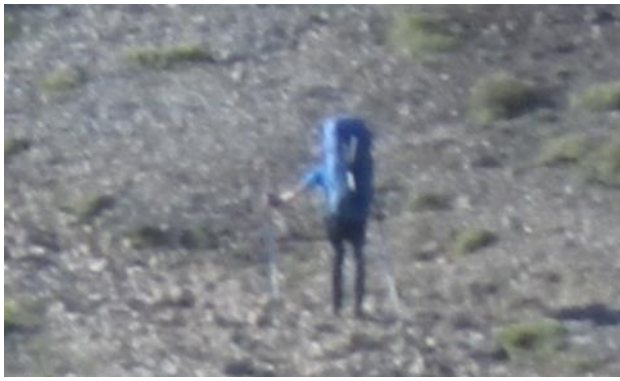
小蓮華の稜線上にて



白馬山頂にて



朝日岳を望む



親不知～静岡・横断縦走者



雪倉岳避難小屋



雪倉岳避難小屋の内部



雪倉岳山頂にて



朝日岳山頂にて



吹上のコル



雪倉岳を望むトリカブト



犬が岳を望む



黒岩の水場



湿原を歩く：矢印は犬が岳



黒岩山にて、後ろはこれから行く稜線



整備された稜線の道



北又の水場



拇海山荘



小屋の内部：番号が打たれた銀マットと寝具



拇海山荘の水洗？トイレ



拇海山荘のテント場



黄蓮の水場



黄蓮の水場付近の美しいブナ林



下駒岳の登り



岩からしみでる白鳥の水場



白鳥小屋



白鳥小屋からの糸魚川と日本海



シキ割の水場



坂田峠



親不知の登山口

参考資料 1 : 山行の装備及び食料

橋本のザック	総重量	10897
着衣など (橋本)	ウェア	2808
個人装備 (橋本)	ザック	5303
個人食糧 (橋本)	食糧	3273
共同装備 (橋本)	共同 橋本	2321
共同装備 (斎藤)	共同 斎藤	2120

category	equipment	remarks	gram	category	equipment	remarks	gram
ウェア	T シャツ		130	共同 h	予備バッテリー	単 3・4 (充電器)	170
ウェア	パンツ		40	共同 h	テント本体		660
ウェア	ズボン		300	共同 h	コンロ		150
ウェア	ソックス		100	共同 h	カメラ		170
ウェア	長袖シャツ		300	共同 h	GPS		154
ウェア	シューズ		1200	共同 h	ボンベ		370
ウェア	時計		53	共同 h	フライ		420
ウェア	ストック		508	共同 h	浄水器		97
ウェア	帽子	ネット	127	共同 h	ガス台		130
ウェア	タオル		50	共同 s	ポール		380
ザック	ザック	65L	1300	共同 s	コンロ		150
ザック	雨具	275+196	475	共同 s	ボンベ		370
ザック	フリース	薄	250	共同 s	グランドシート		320
ザック	スパッツ		89	共同 s	なべ		200
ザック	ザックカバー		115	共同 s	ペグ		140
ザック	サングラス		79	共同 s	マット		320
ザック	プラティパス		116	共同 s	ロープ	6mm*9m	240
ザック	ヘッドランプ	U4*3	92	食糧	嗜好品		180
ザック	ロール紙		75	食糧	飲み物	コーヒー、茶	128
ザック	ナイフ・笛		40	食糧	麺	5	334
ザック	スマホ		170	食糧	アルファ米	4	475
ザック	食器		240	食糧	アルファ米	非常食	119
ザック	シュラフ		600	食糧	ドライフーズ	6	212
ザック	マット		240	食糧	ドライスープ	5	82
ザック	枕		92	食糧	行動食	5	1300
ザック	シュラフカバー		190	食糧	ウィスキー	250ml	275
ザック	着替え	パンツ, シャツ, タオル, 歯ブラシ	240	食糧	箱		168
ザック	カラビナ	2 個	69				
ザック	スリング	3 本	71				

ザック	テープ		130				
ザック	医薬品		260				
ザック	資料		100				
ザック	財布	カード、現金	30				
ザック	日焼け止め		25				
ザック	防虫薬		70				
ザック	かさ		145				